

AMCoR

Asahikawa Medical University Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

看護研究抄録(2022.4)令和2・3年度:

ストーマ装具を用いた両側腎瘻管理方法の検討

ストーマ装具を用いた両側腎瘻管理方法の検討

○上野直美¹⁾ 日野岡蘭子¹⁾ 松本尚也²⁾ 鳥海尚久²⁾ 更科岳大²⁾

1) 旭川医科大学病院 看護部 2) 旭川医科大学病院 小児科

<症例>

8か月男児。前立腺横紋筋肉腫。約1年の化学療法予定。水腎症発症から2日目に右腎瘻造設、9日目に左腎瘻造設。長期の治療で自宅への外泊が検討される中、簡便な管理方法としてストーマ装具を使用した。

<結果>

ストーマ装具での管理開始にあたって、主治医とWOC,病棟看護師によるカンファレンスにおいて、場面想定のもと管理のシミュレーションを行った。装具選択の条件は、逆流防止弁付き、操作がしやすい二品系、コスト考慮のため長期連用型とした。また小児特有の動きに対する対策として、腹巻で装具を保護した。装具交換は1回/週とし、母親への手技指導を行い習得の結果、外泊可能となった。途中化学療法の影響による皮膚症状を認めたが、スキンケアの徹底により装具による管理を継続できた。腎瘻は管理開始41日目にクランプとなった。

<結語>

ストーマ装具による管理は、体動制限がなく、児の成長発達を妨げない管理を可能とした。また体動によるカテーテル事故抜去の回避につながった。